

イゴール・レヴィット

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ・サイクル・イン・ジャパン I & II

Igor Levit

Beethoven Piano Sonatas Cycle in Japan - I & II

2022年

11月18日 [金] 19時開演 · 19日 [土] 14時開演

18 November 2022 | 19:00

19 November 2022 | 14:00

圧倒的な説得力と集中力で瞬く間に現代のトップ・ピアニストへとこのぼり詰めたレヴィット。ヨーロッパ各地を興奮と感動に包んだ彼のベートーヴェン・サイクルが遂に日本に上陸

[チケット料金] 全席指定

S席8,500円 A席5,000円 **U29** A席2,000円

2日間セット券 (S席) 16,000円 [セット券販売は9月30日(金)まで]

当日会場価格は各券種 + 500円となります [各種割引の対象外]

[発売日]

ジャパン・アーツぴあ オンラインチケット会員 先行発売

7月10日 [日] 10:00

一般発売 7月15日 [金] 正午

※料金は税込のみです。本誌掲載の料金のほか、発売時に所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。チケット取り扱い箇所 (プレイガイド) 毎に販売枠を分けております。

U29 公演当日に29歳以下の方ならどなたでも利用できるチケットです。紀尾井ホールウェブチケットのみで取扱います。枚数には制限があります。詳しくは、紀尾井ホールウェブサイトに

無料招待席

紀尾井みらいシート

対象：小学1年生～高校3年生 (保護者とのペア)

募集期間：7月15日 (金) 正午～10月19日 (水) 正午

応募方法：抽選。詳細はQRコードからお進みください。



[チケット取り扱い]

紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/webticket>

ジャパン・アーツぴあ <https://japanarts.pia.jp>

0570-00-1212 (10時～16時/火曜定休)

チケットぴあ t.pia.jp [Pコード 220-178]

イープラス <https://eplus.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大防止措置の観点から、発売日、販売範囲の変更が生じる可能性があるため、最新情報を上記ウェブサイトにて公開しております。

[新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い]

チケットご購入条件として右記QRコードより内容をご確認ください。



紀尾井ホール

Mitsubishi Corporation Presents

第1日目 18日 [金] ベートーヴェンソナタ・サイクル I

Sonata Cycle I: 18 November 2022

ピアノ・ソナタ Beethoven: Piano Sonatas

第1番へ短調 op.2-1 No.1 in F minor op.2-1

第12番変イ長調 op.26 《葬送》 No.12 in A flat major op.26 "Funeral March"

第25番ト長調 op.79 《ソナチネ》 No.25 in G major op.79 "Sonatina"

第21番ハ長調 op.53 《ヴァルトシュタイン》 No.21 in C major op.53 "Waldstein"

[協賛] 三菱商事株式会社

第2日目 19日 [土] ベートーヴェンソナタ・サイクル II

Sonata Cycle II: 19 November 2022

ピアノ・ソナタ Beethoven: Piano Sonatas

第5番ハ短調 op.10-1 No.5 in C minor op.10-1

第19番ト短調 op.49-1 No.19 in G minor op.49-1

第20番ト長調 op.49-2 No.20 in G major op.49-2

第22番へ長調 op.54 No.22 in F major op.54

第23番へ短調 op.57 《熱情》 No.23 in F minor op.57 "Appassionata"

※曲目は予告なく変更となる場合があります。

※小学生のご鑑賞には保護者 (成人) のご同伴をお願いします。

※乳幼児等未就学のお客様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※不測の事態で公演中止となる可能性がございます。その場合はウェブサイトにてお知らせいたします。公演中止の場合に限り、チケットご購入者に券面表示金額にて払戻しいたします。

[共催] ジャパン・アーツ、日本製鉄文化財団

イゴール・レヴィット (ピアノ) Igor Levit, piano

俊敏で批判的な精神を持つレヴィットは、自らの芸術を社会的な出来事と関連したものとして捉え、それらとは切っても切れない関係にあるものと理解している。ニューヨーク・タイムズ紙は、彼を『同世代で最も重要なアーティスト』のひとりと呼んでいる。レヴィットはミュージカル・アメリカ誌の“レコーディング・アーティスト・オブ・ザ・イヤー2020”、そして2018ギルモア・アーティスト賞に選出され、2020年11月には、グラミー賞の“ベスト・クラシカル・インストゥルメンタル・ソロ”部門にノミネートされた。

リサイタルでは、世界の著名なコンサート・ホールや音楽祭で定期的に演奏している。ソリストとしても、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、クレーヴランド管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、そしてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など世界の主要なオーケストラと定期的に共演している。2021年春には、レヴィットとルツェルン音楽祭が、2023年より開始されるレヴィットがキュレーションを務める新しいピアノの音楽祭に向けての複数年にわたるコラボレーションを発表。2022年には、ウィリアム・ボルコムによるピアノ協奏曲を世界初演、さらにレヴィットのためにジャズ・ピアニストのフレッド・ハーシュが作曲したソロ作品の世界初演も行った。

ソニー・クラシカルの専属レコーディング・アーティストとして、2019年に、高い評価を得た同レーベルからのデビュー盤、ベートーヴェンの全32曲のソナタ集で、グラモフォンの“アーティスト・オブ・ザ・イヤー”と、オーパス・クラシック賞を2020年秋に受賞。2020年9月には次作の『エンカウンター(出会い)』を発売したが、コロナ禍におけるロックダウン中の2020年春に録音された本作は、人間の“出会い”や連帯感への欲求を深く掘り下げた個人的な内容のアルバムとなっている。フェルッチョ・ブゾーニとマックス・レーガーによる、バッハとブラームスの演奏機会の少ない編曲版のほか、モートン・フェルドマンの最後のピアノ作品《Palais de Mari(マリの宮殿)》が収録されている。レヴィットの次回作は、ショスタコーヴィチの《24の前奏曲とフーガop.87》と、ロナルド・スティーヴンソンの《DSCHによるパッサカリア》を収録した3枚組。同ア

ルバムのアートワークは、ニューヨーカー誌やニューヨーク・タイムズ紙などで定期的にイラストを提供している世界的に著名なアーティストでグラフィック・デザイナーのクリストフ・ニーマンが特別に制作したものだ。

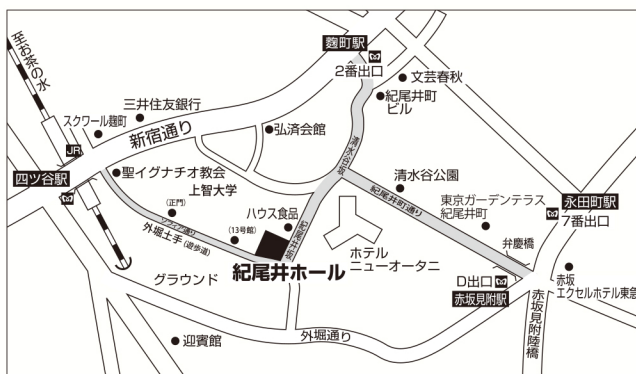
ニジニー・ノヴゴロド生まれのレヴィットは、8歳のときに家族と共にドイツに移住。ハノーファーの音楽大学でピアノを学び、同校の歴史上、最高の成績を収めて修了した。師事した恩師にはカール＝ハインツ・ケマーリング、マッティ・ラエカッリオ、ベルント・ゲーツェ、ラヨス・ロヴァトカイ、ハンス・ライグラフがいる。レヴィットは、2005年のテル・アヴィヴで行われたアルトゥール・ルービンシュタイン・コンクールに最年少で出場し、銀メダル及び最優秀室内演奏賞、観客賞、最優秀現代音楽演奏賞を獲得した。2019年春には、母校であるハノーファー音楽演劇メディア大学の教授に就任した。

2019年には政治的な貢献で第5回国際ベートーヴェン賞を授与された。続いて2020年1月には、アウシュヴィッツ解放75周年にあたり、国際アウシュヴィッツ委員会より“Statue B賞”を授与された。2020年春のロックダウン中にTwitterのライブ・ストリーミングで、自宅より配信した53のライブ演奏により、世界中の聴衆を獲得し、孤立と絶望の時代に、連帯感や希望を届けた。2020年10月、レヴィットはドイツ連邦共和国の功労勲章を授与された。2021年春には、ハンザー社よりレヴィットの初の書籍で、フロリアン・ツィネッカーとの共著による『House Concert』が出版された。居住地のベルリンでは、“サドラーズ・ウェルズ・インディペンデント・オペラ”管財人団の厚意により与えられたスタインウェイDグランド・ピアノを使用している。

イゴール・レヴィットはソニー・クラシカルの専属レコーディング・アーティストである。Exclusive Worldwide Management: Kristin Schuster, Classic Concerts Management GmbH

次のことを予め承知の上、チケットをお求め下さい。

- ※やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更となる場合がございます。
- ※いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。
- ※演奏中は入場できません。
- ※未就学児の同伴・ご入場はご遠慮下さい。小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いいたします。
- ※就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ※全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ※場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
- ※ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ※他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。
- ※車いす席ご希望の方は必ず事前にご予約ください(紀尾井ホールウェブチケット、ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)。
- ※会場内では新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。
- ※「緊急事態宣言」等の状況により記載内容が変更となる場合がございます。



〔最寄駅〕 ●四ツ谷駅(JR線・丸ノ内線・南北線) 徒歩6分 ●有楽町線2番出口(有楽町線) 徒歩8分
●赤坂見附駅D出口(銀座線・丸ノ内線) 徒歩8分 ●永田町駅7番出口(半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

紀尾井ホール 公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代)
紀尾井ホール ホームページ <https://kioihall.jp>

森の声を呼び戻そう。

世界中に、100万本以上の
さまざまな種類の木を植えて、
自然そのままの森の姿を再生する。

三菱商事は、世界各地で熱帯林の再生に取り組んでいます。

www.mitsubishicorp.com

世界とひとりのために。三菱商事